

京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2017 年 1 月 1 日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第 20 号

音楽って素晴らしい！～第 1 回東九条音楽祭開催される～



11 月 20 日（日）記念すべき「第 1 回東九条音楽祭」の日、私は午前中、希望の家ホールで行われたリハーサルに立ち会っていました。途中、突然チェロの柔らかく、優しい音色が耳に入ってきたとき、何故か涙が溢れました。この若者にこれまで一体何があって、あんなにも優しい音が出せるのだろうか。私は感動しました。

本当に人が来てくれるかと、私たちは心配していましたが、

演奏が進むにつれ、地域の人たちがどんどん来られ、会場はほぼ満員（約 150 名）になりました。

前半は、エルシステマギター教室の子どもたちのギター三重奏から始まりました。小学生の女子 3 人は物怖じせず、堂々と立派に演奏する姿に驚きました。続いて大人の男性二人のギターソロと二重奏も素晴らしかったです。次に、今回の音楽祭実現に尽力された、近くの宮下バレエ教室の専属ピアニストをされておられる片岡量臣さんの自作作品の演奏や、中西康雄さんのバリトン独唱があり、前半最後には京都市立芸大生 4 人による、サクソフォーン四重奏が演奏され、演奏終了後も拍手とアンコールの声が止みませんでした。

後半は、神倉辰侑さんのチェロ、藤田奈緒さんのピアノによる演奏が行われましたが、冒頭に述べたように、本当に柔らかくて優しいチェロの音色でした。

トリは、京都朝鮮初級学校オモニ会 OG4 人による MMM(Mama's Moment Musical)の演奏でした。（当日のバイオリンは男性が演奏）中でも、「鳥の歌」は、カザルスが国連で演奏したカタルーニャ民謡の「鳥の歌」と、朝鮮民謡のセタリョンがマッチした素晴らしいものでした。アンコールでは、MMM とチェロの上倉さんが、ピアソラのリベルタンゴをセッションで見事に演奏されたことには驚かされました。会場は感動の渦に巻き込まれ、自然にわき起こるアンコールの拍手で、終演予定が遙かに延長してしまいました。

私は音楽家でありながら、久しぶりに音楽って素晴らしいと思ったひと時でした。

ぜひ 2017 年も続けたいと思いますので、皆さんまた、ご協力を宜しくお願いします。

朴 実（京都・東九条 CAN フォーラム代表）



健康フィエスタ 2016 が開催されました!!



7回目となる健康フィエスタ 2016 が伏見青少年活動センターにて 11 月 19 日に開催されました。

健康に暮らすために自分自身の体を理解し、病気などの正しい知識を持つことが大切ですが、様々な病気の中で、性感染症は敬遠されやすい病気です。

外国籍住民のそれぞれのコミュニティは狭い社会になっており、性感染症について相

談する相手がいない、または相談できる環境になく、それぞれの国の文化や宗教によっては「性」についてタブーとされている国もあって、間違った噂や知識などを持つ方がいます。言葉の壁もあります。日本語で書かれている資料はたくさんありますが、外国語版はあまりありません。また、青少年は国籍に関係なく、自分の健康や性の悩みを相談できる相手がなく、正しい知識を持たず、間違った情報や偏見を持ったままにいる人も多いです。

健康フィエスタは外国籍住民や青少年が自分の健康に関心を持ち、健康に暮らすヒントを得る機会を提供するため、地域に暮らす外国籍住民組織・市民団体・行政機関などの協働で実施しているイベントです。結核や肺がん検診、性感染症検査の機会を提供するとともに、健康相談、ビザや家族についての相談、簡単な健康チェック、参加団体の情報コーナー、エスニック料理のフードコート、各コミュニティによるステージパフォーマンスなどのプログラムを設けています。楽しく体験・参加することを通じて、少しでも正しい知識を得て、それによって偏見をなくし、それぞれが抱えている課題を解決につなげていくことを狙いとしています。

今回は京都市地域・多文化交流ネットワークサロンも健康フィエスタの実行委員に加わり、啓発活動的な位置づけとして大きな役割であるステージの部分を担当していただきました。普段、外国籍住民向けのプログラムを実施されているネットワークサロンに実行委員として参加していただいて、大変心強かったです。今後もこのような活動を協働し、地域に住む外国籍住民をサポートしていきたいです。

健康フィエスタ詳しい情報は Facebook ページまで <https://www.facebook.com/healthfiesta/>

健康フィエスタ 2016 実行委員会メンバー ポップ(プラー ポンキワラシン)
(特定非営利活動法人 CHARM 事務局員)



※CHARM はすべての人が健康(すこやか)に過ごせる社会をめざして HIV 陽性の人や日本語以外の言葉を話す人をサポートする市民団体です。

2016 年 10 月 8 日、第 2 回ネットワークサロン講座で、CHARM の福嶋香織さんに、HIV/AIDS についてお話しいただきました。他の病気と同じように身近に存在し、治療を受けることで、社会の中で自分らしい生活を送ることができる病気であることを、教えてくださいました。



健康フィエスタの協力団体 バザールカフェって、こんなところ



烏丸今出川の大通りを一筋入ると、緑あふれるお庭が迎えてくれるバザールカフェがあります。平日のお昼ときは学生でにぎわい、土曜日は家族連れがゆっくり一休みに来られる、一見いたって平凡なカフェですが、19年前にバザールカフェが立ち上がったときから現在まで、運営者のスピリットは変わっていません。

1998 年に HIV 陽性者支援をしていた者を中心にそれぞれのフィールドで活躍している仲間が集まり、HIV 陽

性者の方が集い語れる場所を作ろうということから始まった場所です。その後バザールカフェに関わる人々の中で滞日外国人支援をしている人たちもいて、対象者は日本で生きていく中で困難を抱えている外国人も含まれていき、現在は様々な生きづらさを抱えている人々が集まり、いわゆる大きな社会の中で働くことが困難な方に雇用の機会を提供しています。活動を続けていく中で、クライアントのニーズは変化してきました。現在は、雇用機会の提供だけではなく、クライアントのニーズをスタッフが丁寧に伺い、バザールカフェができることを考えることから始めています。

現在、バザールカフェでは雇用以外に以下のような活動をおこなっています。

- 移住労働者のサポート。役所などに付き添ったり、子どもの学校からの書類を読んだり、奨学金を一緒に探したり、その支援は多岐に渡ります。
- セクシュアルマイノリティの当事者が毎年主催している交流会をバザールカフェでおこなっています。また、厚生労働省研究班からの助成を受けて、援助者が地域で顔と顔の見える連携ができることを目的にした「ケアカフェばざー」を開催しています。
- 毎週、薬物依存症の人たちの自助グループに会場を提供しています。また、京都ダルクの仲間と庭作業を協働したり、薬物依存症の仲間の就労支援を京都ダルクと共に行っています。
- 京都府青少年の社会的ひきこもり支援職親事業の「職親」に登録。現在まで計 2 名を受け入れ、期限後はバザールカフェで雇用。
- リミックスを行う「親子でハッピーミュージック」では、特別な事情がある方もそうでない方も参加していただけるように、個別ニーズに寄り添うことを目指しています。

以上の活動のほかに出会いと共生の場づくりとして、地域の方が主催する手作り市やバザー会場としての場の提供、実習生・研修生の受け入れ、当事者の活躍や市民団体の交流を目的とした勉強会やイベントの開催などを行っています。

バザールカフェは日本キリスト教団京都教区との共同プロジェクトです。私たちの働きに賛同してくださる多くの教会や市民団体、個人の皆さまのお支えがあり活動ができていることを真摯に受け止め、これからも誠実に人と向き合っていきたいと思います。

まずはふらりとお立ち寄りください。おいしいコーヒーを準備してお待ちしています。（バザールカフェスタッフ 狭間明日実）

バザールカフェ（木～土曜日 11:30～20:00）

京都市上京区烏丸今出川一筋目西入ル岡松町 258

tel/fax 075-411-2379

kyoto.bazaarcafe@gmail.com



2016 年度第 2 回 SYOKU I KU

「ODASHI de Cooking」



第2回目のSYOKU I KU（食育）は、希望の家カトリック保育園の食を預かっておられる調理師の柳生先生にご協力いただきました。和食と言われる日本のごはんに使われる“おだし”の取り方と、だしのうまみを活かしたおかずを教えていただきました。

参加されたのは、4人のフィ

リピン人の女性で、皆さんは日本食もお料理も大好きで、とても関心を持って聞かれ、いろいろと質問もされていました。現在、市販の粉末だしや、だし醤油なども売られているので、日本人でも自分でだしを取って料理することが減ってきています。まず、基本のだしの取り方を教えていただき、それぞれのだしの味見をしました。昆布・かつお・じゃこ・しいたけのだしの味の違いは微妙でしたが、うまみを実感することができました。それから、じゃこだしを使ってお味噌汁、こんぶだしとしいたけだしを使って筑前煮、かつおだしを使って和風オムレツ、かつおだしを使ってほうれん草の海苔和えを作りました。どれも少しの塩と少しの醤油で味付けされたおかずでしたが、薄味のおいしさは、うまみと食材の味を生かしたもので、皆さん美味しく召しあがられました。



効き出汁をしました。優しい出汁の香りに「おいしい!!」とウなずく参加者のみなさん。



「東九条の今昔」写真展を開催しました!!

2016 年 10 月 2 日 京都コリアフェスティバル

@京都市国際交流会館

写真展「東九条の今昔」の開催にあたって ～挨拶文より～

京都コリアフェスティバル実行委員会のご厚意により、フェスティバルの一環として、写真展「東九条の今昔」を開催させていただくことになりました。

東九条には、戦前からコリアンを含む多くの人々が住み、特に高度経済成長期には急激に人口が増加していきました。このため、住宅が密集し、度重なる火災により、住民の生命と財産が脅かされてきました。また、バブル経済期には、東九条の数か所で地上げがおこり、住民が安心して暮らすことが出来ない状態が続きました。このような状況に対して、住民による問題解決の取り組みが長年おこなわれてきました。その結果として、地域交流と多文化共生を目的とした京都市地域・多文化交流ネットワークサロンが東九条に設置されました。

東九条は、この 20 年で大きく変化してきました。東九条の移り変わりを多くの方に知っていただくために、写真展「東九条の今昔」を企画しました。ご覧いただく写真はすべて、写真家の中山和弘さんの作品です。中山さんは、90 年代から東九条の写真を撮り続けています。東九条で生きてきた人々の表情から、困難な時代を乗り越えてきた、たくましさや未来への思いを感じ取っていただければ幸いです。

なお、「40 番地」と表記されているものは、現東松ノ木団地のことで、「四カ町」と表記されているものは、東九条東北部の四つの町内を指します。



2016 年 11 月 3 日

第 24 回東九条マダン

@元陶化小学校

東九条マダン実行委員会と共催で展示をしました。幅広い世代の方々に観ていただくことができました。来場者の中には、東九条の昔の風景を懐かしんでいる方や、一緒に来られた方に解説しておられる方もいらっしゃいました。



2016 年

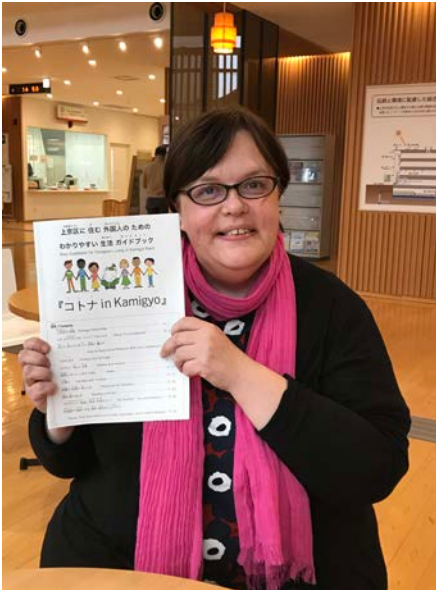
11 月 12 日～12 月 28 日

@ネットワークサロン

京都新聞の記事を見て、多くの方が来館されました。希望の家児童館の子どもたちは、東九条地域で生まれ育った朴実（パクスル）さんから、写真の解説をしていただき、自分たちの地域の昔の様子を知ることができました。

〈シリーズ〉^{とうろくだんたい れんけい しょうかい}登録団体との連携・紹介 (18)

^{がいこくじんじょせい かいばるよん}外国人女性の会パルヨン



^{がいこくじんじょせい かいばるよん きょうと す がいこくじんじょせい しえん}外国人女性の会パルヨンは、京 都に住む外国人 女性を支援する会です。「パルヨン」はフィンランド語で「たくさん」という意味です。^{がいこくじん こうりゅう ば ともだち つく じょうほう}外国人がたくさんの交 流 の場で友達をたくさん作り、情 報

をたくさんもらうことができるように、この名前をつけました。
^{ばるよん つぎ かつどう}パルヨンは、次のような活動をしています。

1. ^{こうりゅうかい きょうと ふこくさい げつ かい がいこくじんじょせい}交 流 会：京 都府国際センターで、2 か月に 1 回、外国人女性
^{にほんじんじょせい あつ なん かい にほん}と日本人女性が集まって、何でもしゃべれる会をしています。日本
^{せいかつ がいこくじん こま じゅう はな た さんかしゃ}での生活で外国人が困っていることを自由に話し、他の参加者か
^{あ ど ば い す じょうほう くに}らアドバイスや情 報をもらうことができます。いろいろな国の人た
^{き えいご ちゅうごくご つうやく こ いっしょ}ちが来ます。英語・中 国語などの通訳もあります。お子さんと一緒
^{さんか だいじょうぶ}に参加しても大 丈夫です。

2. ^{けんしゅう せみなー かみぎょうく そうごうちょうしゃ がいこくじん ぼうさいべんきょうかい きょうと まな ーこうざ}研 修・セミナー：上 京 区総合 庁 舎で、「外国人のための防災 勉強会」や「京 都マナー講座
^{にほん せいかつ ひつよう べんきょう かい ひら がいこくじん しえん にほんじん}など、日本での生活に必要なことが勉 強 できる会を開いています。外国人の支援をしている日本人
^{やく た ないよう だんせい さんか}にも役に立つ内容です。男性も参加できます。

3. ^{がいこくじん せいかつが い どぶつく ことな せいかつが い どぶつく つく}外国人のための生活ガイドブック：2016 年に『コトナ in Kamigyo』という生活ガイドブックを作りま
^{にほん せいかつ やく た じょうほう こつ にほんご か ばん}した。日本での生活に役に立つ 情 報やコツが、わかりやすい日本語で書いてあります (Web版はこちら
^{いま えいごばん ちゅうごくご ばん つく}ら→<http://paruyon.jimdo.com/guidebook/>)。今、英語版と中 国語版も作っています。

4. ^{にほんじん が い どぶつく きょうと す にほんじん がいこくじん じょうず きんじょ}日本人のためのガイドブック：京 都に住む日本人が外国人と上手に近所づきあいをしていくための
^{じょうほう こつ が い どぶつく つく}情 報やコツをのせた ガイドブックを作っています。

^{ばるよん きょうみ み ねん がつ きょうと}パルヨンに興味のある方は<http://paruyon.jimdo.com/>を見てください。パルヨンは2016年10月に京 都
^{しちょう ひょうしょう がいこくじん す まち がんば}市長 から 表 彰 されました。これからも外国人にとって住みやすい街づくりのために頑張ります。
^{いっしょ かつどう ぼしゅう がいこくじん にほんじん さんか ま}一緒に活動しませんか。ボランティアを募 集 しています。外国人、日本人のご参加をお待ちしていま
 す。(写真は外国人女性の会パルヨンのハッカライネン・ニーナ代表)

□ 所在地：〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町 31 (京都市地域・多文化交流ネットワークセンター内)

□ TEL: 075-671-0108 □ FAX: 075-691-7471 □ E-Mail: salon_kyoto@ck9.so-net.ne.jp

□ 開館時間：9 時～17 時 □ WEB サイト：<http://k-tabunka.com>

□ JR 京都駅・京阪東福寺駅・市営地下鉄九条駅より徒歩 15 分

京都市バス 42・202・207・208 系統 九条河原町より徒歩 10 分／84 系統 河原町八条より徒歩 5 分